



道内最大級の拠点で高校生が「物流の今」を体験

令和5年10月20日（金）、石狩湾新港地区において、札幌地区トラック協会と共同主催で高校生を対象に物流施設体験会を開催しました。

この体験会は、第1部では北海商科大学の相浦教授をお招きし講義をしてもらうことで、**物流に関する基礎知識の習熟**を図りました。

第2部の体験会では、物流事業者を招いて物流現場における「生」の声を伺う講話会と、石狩湾新港花畔埠頭ではそびえ立つガントリークレーンや巨大なコンテナを間近で体験しました。各物流施設ではAIにより無人で稼働する「フォークリフト」や、最新のデジタル機器を活用した、**物流の「今」を体感**してもらいました。

生徒には**物流産業の重要性**を「学ぶ」「聞く」「見る」ことで理解し、**物流業界への関心を高めてもらうこと**を目的としました。

次年度以降も継続して取り組んでまいりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

参加者：札幌国際情報高等学校 グローバルビジネス科1年生 計120名

見学施設



石狩湾新港 花畔埠頭

ガントリークレーンやリーファーコンテナ用コンセン
トなどが整備され、冷凍冷蔵貨物の輸送にも対応

“海から陸へ”、“陸から海へ”巨大なガントリークレーンを間近で体験することで、世界と北海道をつなぐスケールの大きい物流を体感



イオン北海道(株)

イオン北海道店舗の札幌市内近郊を中心に54店舗の
商品仕分け、配送を実施

順立て機を使用した商品仕分けを行い、**作業生産性向上と物流コスト削減**を体感

講師

- 丸吉ロジ(株) 代表取締役 吉谷 隆昭
「日本経済を土台から支える鉄の物流という仕事」
- (株)杉本運輸 代表取締役 杉本 憲昭
「物流のやりがいと未来」
- 小樽倉庫(株) 取締役営業統括本部長 渡邊 博史
「倉庫の歴史と役割」
- 富良野通運(株) 代表取締役 永吉 大介
「海へ騎りゆく人々～国際物流の現場から～」



(株)エース

商品の運送や保管業務だけでなく、調達から在庫管理
まで包括的な物流業務を展開する総合物流企業

無人フォークリフトや電動パレットラック、現在研究
中の物流支援ロボット「CarriRo（キャリロ）」など
による、**「今」そして「未来」の物流自動化**を体感

体験会の様子



生徒たちのアンケートより（一部抜粋）

- 冷蔵倉庫では商品毎に温度帯が分かれていて、時間がかかるものは機械化されていたりと、これからこのようなものがどんどん増えていくのかと興味が出てきた。
- もう既に無人での作業が実用化されていることに科学の進歩を感じた。また、物流業界の重要性を学び、これからの日本を支えることが出来ると感じたため、就職先の一つとして興味を持った。
- 無人で指定した場所にものを運べるロボット、効率化を図り、物流をさらによくしようとする姿勢に感銘を受けました。他の小売業の方のため、お客さんのためにどのような工夫が出来るのか、どのような思いで物流に携わっていけばよいかなど、学んだことに無駄なもの一つも無かったです。